

令和7年度中川区区民会議
意見収集の場「なかが話」報告書



中川区役所

目次

中川区民会議 意見収集の場「なかが話」	1
---------------------	---

令和7年度「なかが話」開催日時など

意見収集の場「なかが話」実施報告	2
------------------	---

(1) 当日の流れ	2
-----------	---

メインファシリテーター所感	5
---------------	---

(2) グループワーク	
-------------	--

Aグループ	6
-------	---

Bグループ	8
-------	---

Cグループ	10
-------	----

Dグループ	12
-------	----

Eグループ	14
-------	----

(3) 後記	15
--------	----

参加者アンケート結果	16
------------	----

中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」^わ

中川区では、区民の皆さまの区政への参画を推進し、区の将来の方向性等に関し、ご意見をいただくため、学区区政協力委員会委員長及び各種団体の長の皆さまからなる「区民会議」を開催しています。

また、区民会議の開催にあたり、さまざまな年代・立場の方々から、より多くの意見を聞く場として「なかが話」（中川区の将来について話し合う場）を開催しています。

今年度の『なかが話』では、「中川区の“これまで”と“これから”」について、少人数に分かれて話し合っていました。

令和7年度「なかが話」開催日時等

◆ 日 時：令和7年10月12日（日） 9時30分～12時00分

◆ 会 場：中川区役所 講堂

◆ 参加者：26人

- ・区民会議構成員から推薦された区民17人
- ・区内2高校（県立中川青和高等学校、市立工業高等学校）の生徒・学校関係者9人

◆ ファシリテーター：6名

- ・メインファシリテーター 1名：パブリック・ハーツ株式会社 代表取締役 水谷氏
- ・グループファシリテーター5名：まちづくりびと※

※まちづくりに関心を持ち、積極的にまちづくり活動に取り組む人材。

（公財）名古屋まちづくり公社 名古屋都市センターで開催しているまちづくり講座を受講することで、「まちづくりびと」として登録される。

◆ テーマ：中川区の“これまで”と“これから”をつなぐまちづくり

A グループ 参加者：5人

B グループ 参加者：5人

C グループ 参加者：5人

D グループ 参加者：5人

E グループ 参加者：6人

意見収集の場「なかが話」実施報告

当日の流れ

◆あいさつ 午前9時30分～

- ・ 主催者を代表して中川区役所企画経理課長より、今回の参加者の皆さまへお礼と企画の主旨を伝えました。
- ・ ファシリテーター挨拶…進行役のパブリック・ハーツ（株）水谷氏より、「なかが話」のねらい、進め方、お願いを伝えました。



◆アイスブレイク 午前9時35分～

- ・ 5つのグループに分かれ、グループファシリテーターの進行により自己紹介を行いました。
- ・ 次に、「グループ対抗なかがわクイズ」と題して、中川区の形や川の数などをクイズ形式にし、取り組みました。また、グループワークに繋がるように、ファシリテーターの水谷氏より、今後の人口推移について、情報提供をいただきました。
- ・ チームで協力してゲームに取り組むことで、参加者の皆さんには、リラックスいただき、今回のテーマに繋がっていくことができました。



◆グループワーク 午前9時50分～

- はじめに、「中川区のこれまでとこれから」について、個々に付せんに記入をしました。黄緑色の付せんは「中川区のこれまで（まちの思い出）」、黄色の付せんは「中川区のこれから（まちへの希望）」、水色の付せんは「中川区のこれから（まちへの懸念）」と色分けし記入しました。
- 個々の付せんを紹介し、共有しながら、模造紙の年表上に貼っていきました。
- 「今（ここ数年で）私たちはどういうまちをつくるのか？」をグループで考え、桃色の付せんに記入し、模造紙へ貼っていきました。
- いいなと思うところや、大事だと思うところに赤丸のシールを貼っていきました。



グループワークの
様子



◆全体発表 午前11時20分～

- ・ 各グループの代表者から、3分以内でグループワークの内容が発表されました。



A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



E グループ



◆おわりに 午前11時55分～

- ・ 企画経理課長よりお礼と今後に向けた言葉を述べ、閉会の挨拶を行いました。
- ・ 最後に集合写真を撮影し、アンケートを記入いただき、終了しました。



メインファシリテーター所感

今回の「なかが話」では、中高生から70歳を超える多世代が集い、互いをおもいやりながら、対話の中で1950年から2100年までの中川のまちをめぐりました。メンバーの思い出を『まちの過去』として共有し、自分がいなくなった遠い未来のまちに想いを馳せ、そして“今”のまちに意識を向けました。

話し合いの内容もさることながら、長い時間軸の中で、中川区という場に、いのちが重なり合い受け継がれていくことを、共有できたように思います。未来に向けた取り組みを互いに支え、励まし合う、とても心豊かで温かな場になりました。

この「なかが話」を継続することで、これまで繋がることのなかった人と人とのネットワークが生まれ、次の区のビジョンや施策も、より中川らしいものとして実を結んでいくことでしょう。素晴らしい場に身を置かせていただけたことに、心から感謝申し上げます。

グループワーク

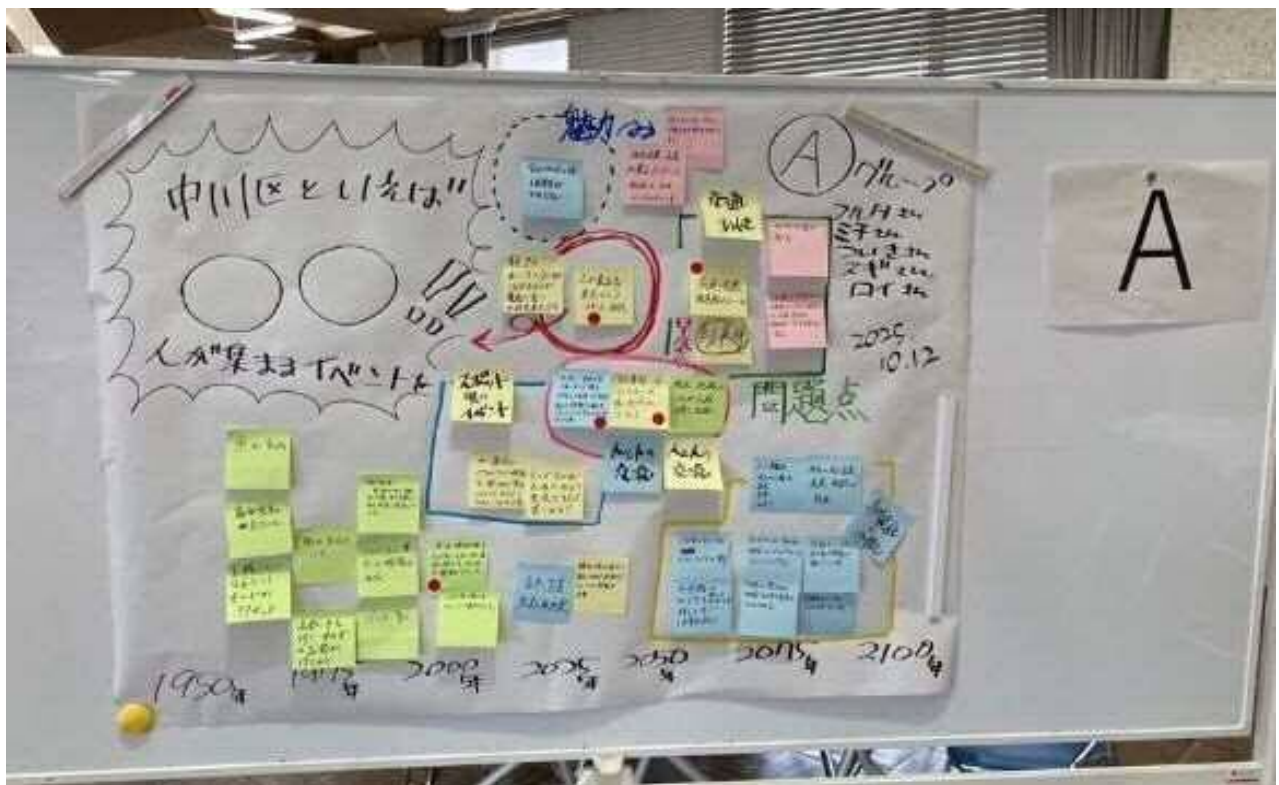
中川区の“これまで”と“これから”をつなぐ まちづくり

「中川区のこれまでとこれから」について考え、今私たちが何を行うのかを議論をしました。
(掲載内容につきましては、趣旨が変わらないように、内容を一部修正しております。)

A グループ

「中川区といえば〇〇！！」という特色を

Aグループでは、地域の昔のつながりが薄れ、交通の不便さや空き家増加などの課題が指摘されました。今後は、交通網の整備や人が集まる場づくり、イベント活性化を通じて、魅力あるまちづくりを目指すことが提案されました。



話し合った内容

＜過去の様子や変化＞

- ・昔は子どもの将来の夢に『お嫁さん』が多かったが、現在はほぼ見られないなど価値観の変化。
- ・地域イベント（盆踊りや祭り）への参加者が減少し、子ども会などの全員参加型文化が薄れてきている。
- ・名前の多様化や外国文化との接触機会の増加など、社会の多様化が進んでいる。

＜現在の課題＞

- ・交通の不便さ（鉄道やバス路線が少なく移動が不便）。
- ・コミュニティの希薄化（マンション住民や外国人との交流不足）。
- ・自然災害への不安（線状降水帯や冠水被害への備え不足）。
- ・空き家の増加（固定資産税の低さなどで放置されるケース）。
- ・若者の流出と産業継承問題（町工場の技術が引き継がれず人口減少）。

＜未来への希望・提案＞

- ・交通網の整備（地下鉄やバスの利便性向上、サイクリングロード整備）。
- ・人が集まる場づくり（大規模公園やドッグラン、若者向け施設）。
- ・イベントの活性化（地元企業や商店を巻き込んだフェスやマルシェ）。
- ・多文化共生の推進（外国人と交流できる場や英語対応ショップ）。
- ・防災・安心のまちづくり（川やインフラ整備、高齢者・子育て世帯に優しい環境）。



B グループ

子ども達やお祭りで中川区一緒に盛り上げよう！

Bグループでは、過去の祭りや農業、商店街、子供会など地域のつながりが薄れ、交通の不便さや防災課題が指摘されました。「子ども達やお祭りで中川区を一緒に盛り上げる」ために、薄れたとされる様々なつながりを再構築する提案が行われました。



話し合った内容

<過去の様子と変化>

- ・昔は農家が多く、白菜などの農作物が有名だったが、現在は住宅街に変化。
- ・商店街や自動車学校など地域の施設が減少。
- ・子供会や地域イベント（祭り）は活発だったが、近年は役員不足や負担増で縮小。
- ・ナゴヤ球場や駅名変更（球場駅→山王駅）など、地域のランドマークの変遷。

- コンビニの増加や営業時間の変化（24 時間営業化）、生活利便性の変化。
- 伊勢湾台風など過去の災害体験が語られ、地域防災意識の背景に。

＜現在の課題＞

- 交通の不便さ・道路の危険性（狭い道路や自転車道の整備不足、バス本数減少）。
- コミュニティの希薄化（子供会や老人会の減少、地域行事の縮小）。
- 少子高齢化による地域活力低下。
- 災害対策不足（冠水や豪雨への備えが不十分）。
- 環境問題（ごみの不法投棄、町の美化課題）。

＜未来への希望・課題＞

- 交通・安全（道路整備、自転車道の安全化、交通事故削減）。
- 公園・環境整備（子供が安心して遊べる公園、町の美化）。
- イベント・交流（祭りや地域イベントの復活、地域企業との連携）。
- 防災強化（避難訓練の充実、災害に強いまちづくり）。
- 多文化共生（外国人との交流促進）。
- 特色づくり（「中川区といえば〇〇」といえるランドマークやイベントの創出）。



C グループ

動きやすく、人のつながりがある

魅力のあるまちづくり

C グループでは、過去の地域交流や商店街の活発さが薄れ、交通の不便さや防災課題が指摘されました。商業・防災・子育て・自然をバランスよく整備し、地域ごとのニーズに応じた施設やイベントの企画などが提案されました。



話し合った内容

<過去の様子や変化>

- ・ 高速道路や主要道路（302号線など）の開通により交通利便性が向上。
- ・ 昔は町内運動会や子供会の行事が盛んで、地域交流が活発だった。
- ・ 公園や広場が多く、子供が外で遊ぶ環境が整っていた。

- 商店街や小規模スーパーが地域にあり、買い物が便利だった。
- コロナ禍で交流が減少し、地域イベントが中止・縮小。

＜現在の課題＞

- 交通の不便さ（地下鉄未整備、電車アクセスが限定的、バスはあるが長距離移動は不便）。
- コミュニティの希薄化（町内会や子供会の衰退、交流機会の減少）。
- 少子高齢化・人口減少（子供が減り、高齢者が増加）。
- 買い物難民問題（小規模スーパーの閉店、地域による格差）。
- 災害への不安（南海トラフ地震や川の氾濫リスク）。
- 自然減少（開発による緑地の減少）。

＜未来への希望や提案＞

- 交通改善（地下鉄延伸、シャトルバス導入、移動しやすいまち）。
- 商業施設の誘致（大型ショッピングモールや複合施設）。
- イベント活性化（住民参加型の祭りや交流イベント）。
- 子育て支援（遊び場や児童館の整備、保育環境の充実）。
- 自然と共存（緑地や公園の維持・整備、桜並木など景観づくり）。
- 中川運河の活用（カフェや観光スポット化、再開発による魅力向上）。



D グループ

お金の心配ゼロ！交通事故ゼロ！

子どもの安全・市民の安全100%達成！！

Dグループでは、過去の地域交流や子供会の活発さが薄れ、現在は高齢化や防災不安、交通安全の課題が指摘されました。地域住民・行政・企業が連携し、まちを総合的に整備することが提案されました。



話し合った内容

<過去の様子や変化>

- ・昔は農業が盛んで、地域のつながりが強かった。
- ・市電廃止（1975年頃）、区役所移転など交通・行政の変化。
- ・伊勢湾台風（1959年）など災害経験。
- ・子供会や町内会の活動が活発で、運動会や地域イベントが多かった。

- ・戦後のまちづくりで住宅地が増加。

＜現在の課題＞

- ・コミュニティの希薄化（町内会や子供会の衰退、役員のなり手不足）。
- ・高齢化・孤独死問題（高齢者支援不足、地域の見守り体制が弱い）。
- ・交通・安全（暗い道が多い、交通事故の懸念）。
- ・防災不安（災害時の対応や情報共有不足）。
- ・縦割り行政の弊害（制度や手続きの複雑さ、連携不足）。
- ・経済・生活不安（年金・税金負担、介護職の待遇問題）。

＜未来への希望・提案＞

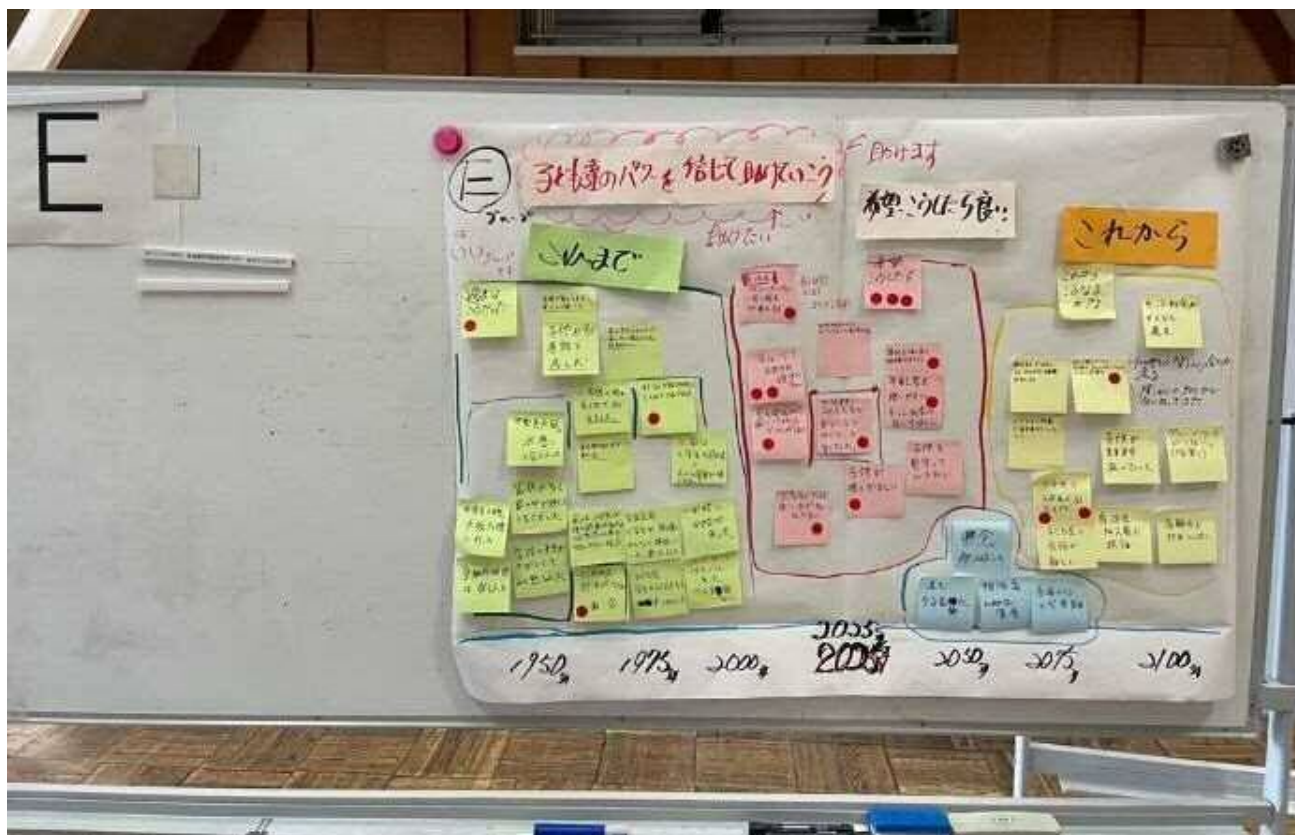
- ・交流促進（地域イベントの充実、外国人も含めた多様な交流）。
- ・交通・安全改善（暗い道の照明整備、交通事故防止）。
- ・子育て支援（保育園・幼稚園の充実、子育て世代が働きやすい環境）。
- ・防災強化（災害時のフローチャート配布、避難体制整備）。
- ・バリアフリー化（障害者や高齢者が住みやすいまち）。
- ・文化・魅力づくり（川の活用、町の文化発展、特色ある施設）。
- ・行政とのパイプ強化（区役所と地域の連携、情報共有）。



E グループ

子ども達のパワーを信じて助けていこう

E グループでは、過去の地域交流や子供会の活発さが薄れ、現在は少子高齢化や防災不安、遊び場不足の課題が指摘されました。地域・行政・学校が連携し、子育て・防災・交流・ICTを総合的に整備していくことが提案されました。



話し合った内容

<過去の様子や変化>

- ・昔は子供が多く、道路で遊ぶ光景が普通だった（縄跳び、ケンケン遊びなど）。
- ・町内会や子供会が活発で、春・秋の運動会や学芸会、地域イベントが盛ん。
- ・伝統的な祭りや地域行事が多く、地域のつながりが強かった。
- ・農業や田んぼが身近にあり、自然体験ができた。

- ・伊勢湾台風など災害経験もあり、防災意識が高かった。

＜現在の課題＞

- ・子供会・地域活動の衰退（子供会が減少、ジュニアリーダー制度の認知不足）。
- ・少子高齢化（子供の数が減り、学校のクラス数も減少）。
- ・コミュニケーション不足（若い世代と地域の関わりが希薄、ICT 活用の遅れ）。
- ・防災・安全不安（南海トラフ地震など災害リスク、耐震強化の必要性）。
- ・物価高と賃金の不均衡（生活不安、自治会加入者減少）。
- ・遊び場不足（公園の整備不足、バスケットゴールなど子供が遊べる設備が少ない）。

＜未来への希望・提案＞

- ・子供の育ちを支える仕組み（子供会やジュニアリーダー活動の復活・強化）。
- ・地域イベントの再活性化（祭りやクリスマス会など世代を超えた交流）。
- ・ICT 活用（自治会運営や情報共有のデジタル化、年配者も使いやすい仕組み）。
- ・防災対策強化（耐震助成金制度の充実、災害時の対応力向上）。
- ・遊び場整備（公園にバスケットゴール設置など、子供が楽しめる環境）。
- ・多世代交流（若者の地域参加促進、親世代の負担軽減）。



後記

約2時間半という時間の中で、熱心に話し合っていた姿がとても印象的でした。

話し合っていた内容は、区民会議の場で報告させていただき、区民会議構成員の皆さまと意見交換を行い、今後の区政運営に役立ててまいります。

ご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。次の機会にお会いできることを楽しみにしております。

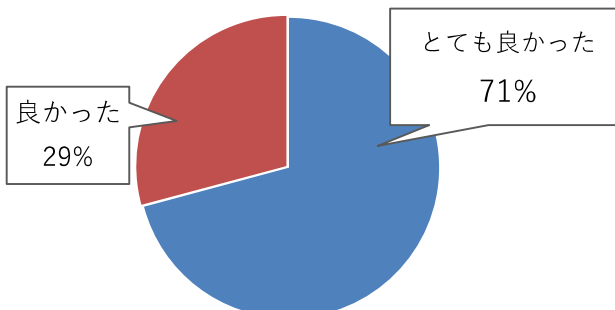
令和7年度中川区区民会議意見収集の場「なかが話」参加者アンケート

開催日：令和7年10月12日（日）
 参加人数：26人
 回答者数：24人

1 本日の「なかが話」はいかがでしたか。

とても良かった
 良かった
 あまり良くなかった
 良くなかった

17人
 7人
 0人
 0人

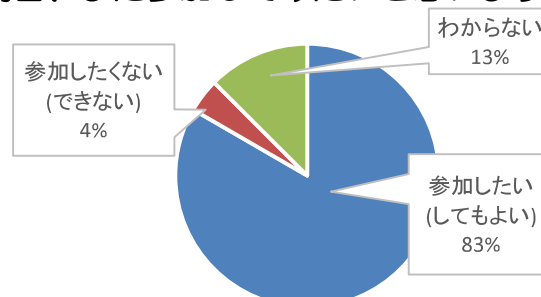


- ・様々な年代、立場の人と意見交流を行うことができた。
- ・地域の方と今のことや過去のことをたくさんお話しして、たくさんを知ることができました。
- ・中川区全体でどう発展していったらいいか考えさせられた。
- ・ずっと住んではいたけれど、知らない部分もたくさんあって、中川区の知識が増えた。
- ・グループの中に区役所の方も参加したほうが現状と合わせた話もできると思います。
- ・様々な年代の人と話すことに少し抵抗があったが、自分にはない考えなどを知ることができ、とてもよい機会だった。

2 来年度以降も「なかが話」を開催する場合、また参加してみたいと思いますか。

参加したい(してもよい)
 参加したくない(できない)
 わからない

20人
 1人
 3人



- ・様々な意見に出会って楽しい体験ができた。
- ・住んでいる地域でのことを深く考えることがなかなかないので、話し合いができてよかったから。
- ・様々な年代の方と話し、考えをお聞きするキッカケになるので参加したいです。
- ・同じ人が何度も参加するのではなく、いろいろな人が参加することがよいと思います。
- ・若い方の参加が増えると良い。
- ・たくさんの人に参加してほしいので1回交替で。

3 2で参加したい（してもよい）と回答された方
来年度以降もなかが話に参加する場合、どのようなテーマで話し合いを
したいですか。

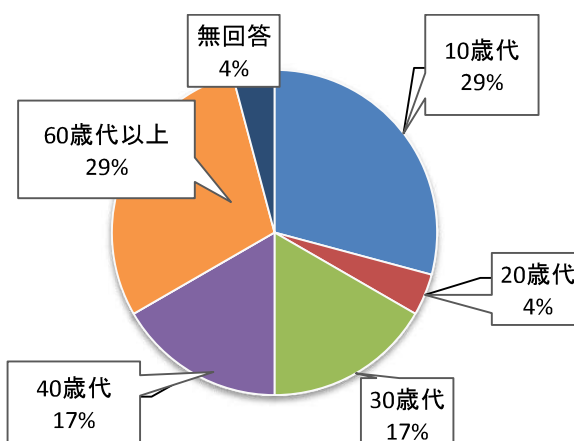
- ・中川区の将来に関したことを中心に話し合いたい。
- ・商業施設の設置をどうやって進めていくべきか、またイベントなどの進め方を
どうすべきか。
- ・今回のような「中川区をよりよくするには？」というテーマが良いと思います。
- ・中川区は広いので全員が参加できるものがないか

4 あなた自身についてお答えください。

○年代

10歳代
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代以上
無回答

7 人
1 人
4 人
4 人
0 人
7 人
1 人



5 本日の意見交換の中で話し合われた内容についてご意見やお気づきの点が
ございましたら、ご記入ください。

- ・子どもの話も思いも行政に届けばいいと思います。子どもが主体的に活動できる
場があればと思います。
- ・子ども向け（小・中学生）の「なかが話」をしてほしい。
- ・幅広い年齢の方がみえて、いろいろな視点の思いを聞けて、とても参考になり
ました。
- ・中川区としての取り組みや動向が知れると良かった。より良い区をつくっていく
ことを目的で「なかが話」が行われているのであれば、職員・学生・区民など
様々な区で活躍する人たちを巻き込むことも必要だと思います。
- ・皆さんの考えは同じ方向を向いていたので、非常に建設的で良かったです。
若い方の意見などしっかりした考えを持っていて感動しました。